



セント・アイブス

ブリテン島の南西部に位置するコーンウォールの海辺の町セント・アイブスは、英国の陶芸家バーナード・リーチが日本の陶芸家濱田庄司とともに日本式の登り窯「リーチ・ポタリー」を作ったことでも知られています。そのほかにも多くの芸術家がこの地を拠点としており、ロンドンを代表する美術館の一つであるテート・ギャラリーの分館も設置されています。2021年にはG7サミットの開催地となり、世界の注目を集めました。



世界の地域から コーンウォール（英国）



ランズ・エンド

文字通りブリテン島の南西の「地の果て」。アトラクションや食事を楽しむことのできる施設もあり、家族連れで楽しむことができます。「LANDS END」と書かれた白いサインポストは人気フォトスポットとなっており、多くの人が記念撮影をしています。遊歩道も整備されていて、気軽にウォーキングを楽しみながら、断崖絶壁とその先に広がる海を一望できます。